

出前授業、講演会の内容(案)

2023年10月



あせまねライフ
Asset Management Life

お問い合わせ／お申込み方法

- ・以下のリンク先よりお知らせ下さい
- ・折り返しご連絡させていただきます

<https://am-life.co.jp/inquiry/>

連絡先：宮井博

Mail : hmiyai@am-life.co.jp

電話：090-6527-4561

ご提供可能なプログラム

I. 金融経済教育を知る p6~18

- 金融リテラシー・クイズ
- 金融経済教育はなぜ必要なのか？
- 社会を生き抜くための知識と知恵

II. 職業を知る（生徒の職業理解など）・ p19~25

- 個人の生活と企業、社会の関係
- 私の経歴
- 職業選択で重要なこと

III. 起業について（理由や経緯） p26~36

- 会社員生活で学んだことの社会還元
- 金融リテラシー向上への貢献
- 株式の模擬投資アプリで社会貢献

- 高校の出前授業、講演会として提供できるプログラムは、左の3つです。
- それぞれ、50分程度を想定していますが、ご要望に応じて時間変更は可能です。
- また、内容につきましても、ご相談いただければ、可能な範囲でご要望に対応します。
- スクリーンやモニターへの映写を基本とします。
- 生徒は個人端末を利用して見ることができます。

■ 出前授業の提供会社

あせまねライフ株式会社は、長年資産運用業界に身を置き、専門的な知識とノウハウを培った資産運用のスペシャリストが、社会の金融リテラシー向上への貢献を目指して設立したインターネットを使った投資教育を提供する会社です。

株式の模擬投資アプリ「賢者のポートフォリオ」を核として、株式投資に関する様々な情報を提供しています。

■ 出前授業提供の背景

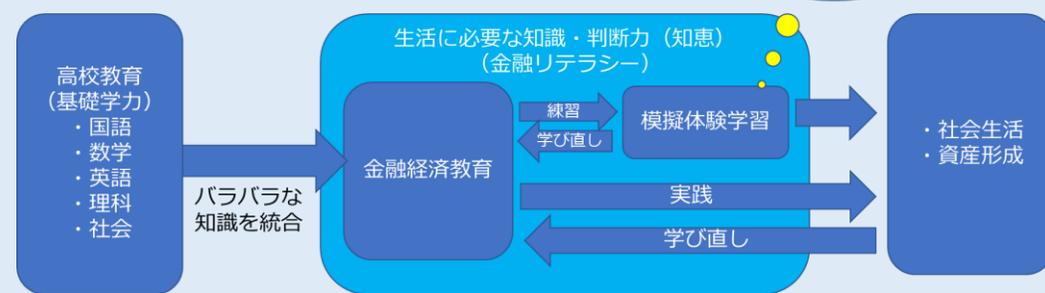
「賢者のポートフォリオ」アプリは、今年度12の大学の経済学部や商学部、経営学部の20を超える講座やゼミで教材として利用され、来年度からは高校の金融経済教育の副教材として利用いただけるように準備しています。

今回はアプリ開発者自身が出前授業を通じて、アプリ開発のきっかけとなった金融経済教育の重要性や、資産運用業界での経験に基づく職業観、投資教育関連会社の起業の理由や経緯について解説するとともに、先生方とのコミュニケーションやご理解を得てアプリ利用に向けたイベント開催に繋がりたいと考えています。

■ 授業の内容

1. 金融リテラシー・クイズ
2. 金融経済教育はなぜ必要なのか？
3. 社会を生き抜くための知識と知恵

これを実現するために開発したのが、株式模擬投資アプリの「賢者のポートフォリオ」



■ 講師紹介

宮井博 (みやい ひろし)

あせまねライフ株式会社 / 代表取締役社長

環境アセスメント関連の会社を経て、1987年に旧日興証券株式会社に転職
日興リサーチセンターで資産運用のモデル開発や年金基金へのコンサルティング業務に携わる
年金資金の資産運用関連のビジネスの他、ESG投資の調査研究も推進
明治大学や中央大学大学院で非常勤講師など歴任

お問い合わせはこちら：あせまねライフ株式会社 / info@am-life.co.jp

ホームページ： <https://am-life.co.jp/>

電話 (携帯)： 090-6527-4561 (宮井)



出前授業 NO.2

あせまねライフ株式会社主催
職業を知る（生徒の職業理解など）
～資産運用業界で30年超の経験者が語る～

案内状

■ 出前授業の提供会社

あせまねライフ株式会社は、長年資産運用業界に身を置き、専門的な知識とノウハウを培った資産運用のスペシャリストが、社会の金融リテラシー向上への貢献を目指して設立したインターネットを使った投資教育を提供する会社です。

株式の模擬投資アプリ「賢者のポートフォリオ」を核として、株式投資に関する様々な情報を提供しています。

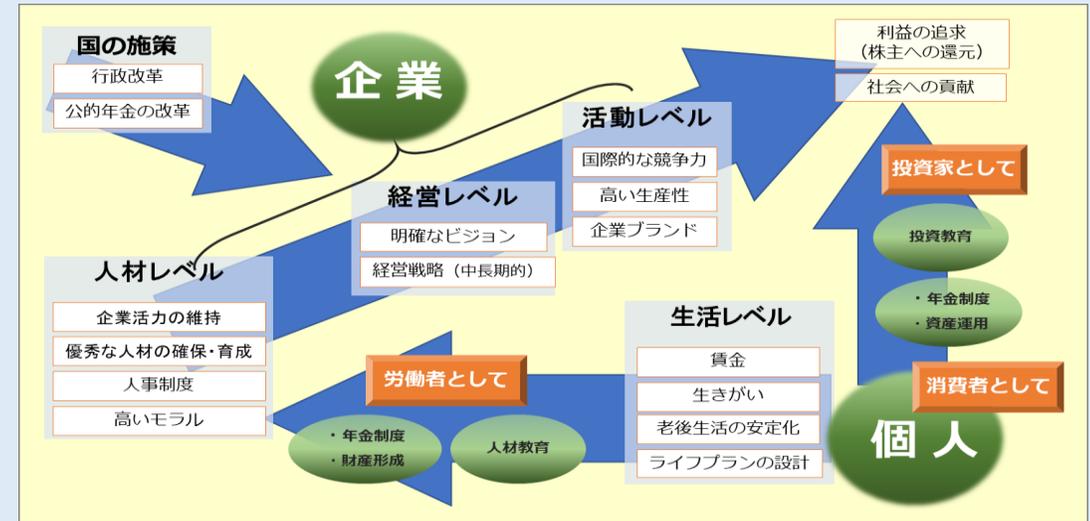
■ 出前授業提供の背景

「賢者のポートフォリオ」アプリは、今年度12の大学の経済学部や商学部、経営学部の20を超える講座やゼミで教材として利用され、来年度からは高校の金融経済教育の副教材として利用いただけるように準備しています。

今回はアプリ開発者自身が出前授業を通じて、アプリ開発のきっかけとなった金融経済教育の重要性や、資産運用業界での経験に基づく職業観、投資教育関連会社の起業の理由や経緯について解説するとともに、先生方とのコミュニケーションやご理解を得てアプリ利用に向けたイベント開催に繋がりたいと考えています。

■ 授業の内容

1. 個人の生活と企業、社会の関係
2. 私の経歴
3. 職業選択で重要なこと



■ 講師紹介

宮井博（みやい ひろし）
あせまねライフ株式会社／代表取締役社長

環境アセスメント関連の会社を経て、1987年に旧日興証券株式会社に転職
日興リサーチセンターで資産運用のモデル開発や年金基金へのコンサル
ティング業務に携わる
年金資金の資産運用関連のビジネスの他、ESG投資の調査研究も推進
明治大学や中央大学大学院で非常勤講師など歴任

お問合せはこちら：あせまねライフ株式会社／info@am-life.co.jp
ホームページ：https://am-life.co.jp/
電話（携帯）：090-6527-4561（宮井）

出前授業 NO.3

あせまねライフ株式会社主催 起業について（理由や経緯） ～資産運用業界で30年超の経験者が語る～

案内状

■ 出前授業の提供会社

あせまねライフ株式会社は、長年資産運用業界に身を置き、専門的な知識とノウハウを培った資産運用のスペシャリストが、社会の金融リテラシー向上への貢献を目指して設立したインターネットを使った投資教育を提供する会社です。

株式の模擬投資アプリ「賢者のポートフォリオ」を核として、株式投資に関する様々な情報を提供しています。

■ 出前授業提供の背景

「賢者のポートフォリオ」アプリは、今年度12の大学の経済学部や商学部、経営学部の20を超える講座やゼミで教材として利用され、来年度からは高校の金融経済教育の副教材として利用いただけるように準備しています。

今回はアプリ開発者自身が出前授業を通じて、アプリ開発のきっかけとなった金融経済教育の重要性や、資産運用業界での経験に基づく職業観、投資教育関連会社の起業の理由や経緯について解説するとともに、先生方とのコミュニケーションやご理解を得てアプリ利用に向けたイベント開催に繋がりたいと考えています。

■ 授業の内容

1. 資産運用業界での経験の社会還元
2. 金融リテラシー向上への貢献
3. 株式の模擬投資アプリで社会貢献

人生100年時代、資産形成が必要だとは分かってはいるけど・・・
こちらをご覧ください

投資を学びたいけど、忙しくて時間がない！
こちらをご覧ください

投資って、専門用語が多くて難しいんだよな...
こちらをご覧ください

金融機関にNISA口座を作ったけど...何から始めたらいいの
こちらをご覧ください

初心者だけど、いきなり株式投資を始めても大丈夫かな？
こちらをご覧ください

自分できちっと考えて銘柄選びをしたいけれど...
こちらをご覧ください

経済や投資の理論も踏まえた正統な株式投資を学びたい
こちらをご覧ください

専門家が実践しているような上級の投資スキルを身に付けたい
こちらをご覧ください

賢者のポートフォリオ がお助けします。
「賢者のポートフォリオ」は株式投資を気軽に学べる投資教育アプリです。
ゲームを楽しみながら、投資を学んでみませんか？

■ 講師紹介

宮井博（みやい ひろし）
あせまねライフ株式会社／代表取締役社長

環境アセスメント関連の会社を経て、1987年に旧日興証券株式会社に転職
日興リサーチセンターで資産運用のモデル開発や年金基金へのコンサルティング業務に携わる
年金資金の資産運用関連のビジネスの他、ESG投資の調査研究も推進
明治大学や中央大学大学院で非常勤講師など歴任

お問合せはこちら：あせまねライフ株式会社／info@am-life.co.jp
ホームページ：https://am-life.co.jp/
電話（携帯）：090-6527-4561（宮井）

1. 金融経済教育を知る



目次

1. 金融リテラシー・クイズ

2. 金融経済教育はなぜ必要なのか？

- 視野が広がり豊かな人生への道が開ける
- 個人の資産形成に活かせる
- 資金供給で日本経済の活性化に繋がる

3. 社会を生き抜くための知識と知恵

- 高校教育によって社会経済を理解する基礎学力を修得
- 金融経済は基礎学力を実践に移す場
- 知識を獲得し知恵を発揮しよう

・左の項目に沿って、金融経済教育の必要性を中心に解説します。

・「1. 金融リテラシー・クイズ」は、金融広報中央委員会「知るぽると」より、金融知識に関するものを抜粋したもので、生徒に金融リテラシーとは何かを実感してもらいます。

・「2. 金融経済教育はなぜ必要なのか？」の内容は独自に考えたものですが、結果的に金融経済教育推進会議（事務局：金融広報中央委員会）が大学生向けに作成した「金融経済教育の意義・目的」に類似した内容になっています。

・「3. 社会を生き抜くための知識と知恵」は高校教育で修得した基礎学力をベースに、社会を生き抜くための金融経済の知識を身に付け、意思決定に活かす知恵を磨くことの重要性を解説します。

講師のご紹介



宮井 博

あせまねライフ株式会社
代表取締役社長

(公益財団法人) 年金シニアプラン総合研究機構理事

(公益財団法人) 東京財団政策研究所 資産運用アドバイザー

【経歴】

- 環境アセスメント関連の会社を経て、1987年に旧日興証券株式会社に転職
- 日興リサーチセンターで資産運用のモデル開発や年金基金へのコンサルティング業務に携わる
- 年金資金の資産運用関連のビジネスの他、ESG投資の調査研究も推進
- 明治大学や中央大学大学院で非常勤講師など歴任
- 2018年3月あせまねライフ株式会社設立



1. 金融リテラシー・クイズ

(金融広報中央委員会「知るぽると」のWEBサイトより)

問1：金利が上がっていくときに、資金の運用（預金等）、借入れについて適切な対応はどれでしょうか。

1. 運用は固定金利、借入れは固定金利にする
2. 運用は固定金利、借入れは変動金利にする
3. 運用は変動金利、借入れは固定金利にする
4. 運用は変動金利、借入れは変動金利にする
5. わからない

問2：10万円の借入れがあり、借入金利は複利で年率20%です。返済をしないと、この金利では、何年で残高は倍になるでしょうか。

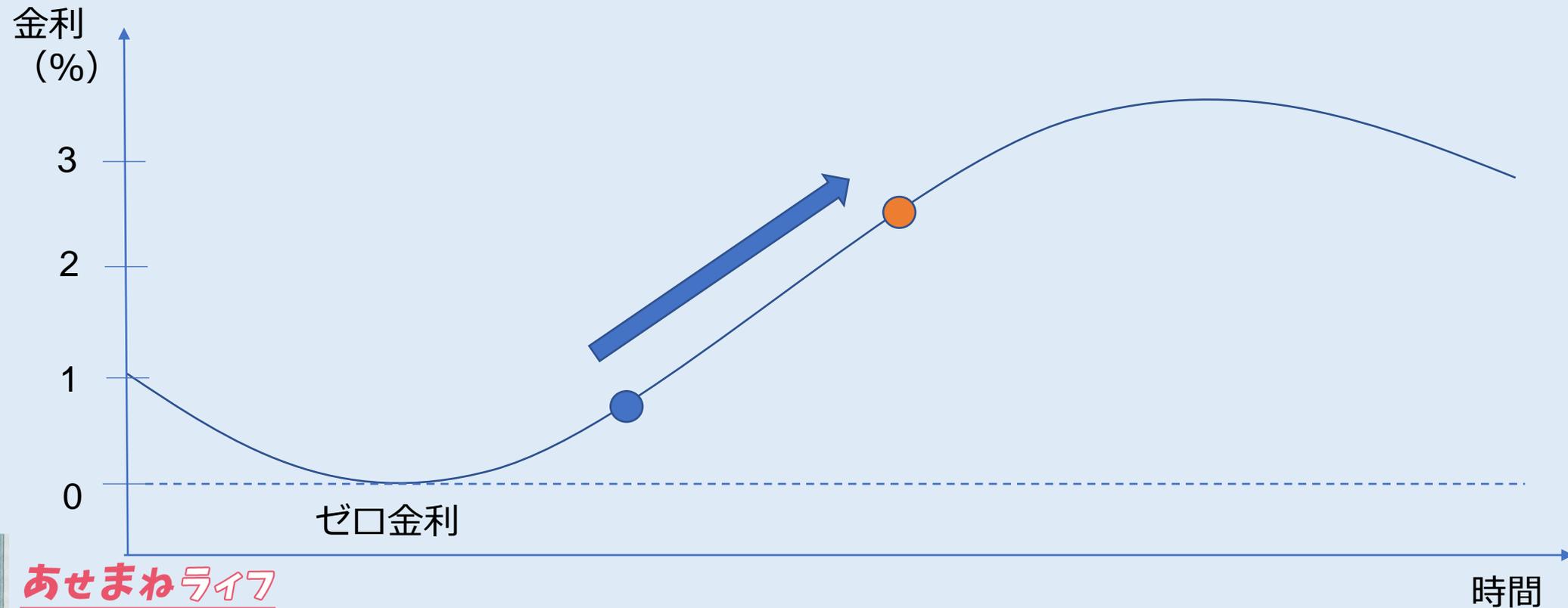
1. 2年未満
2. 2年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上
5. わからない

- ・問1、問2とも高校生に質問すると、おそらく、「5. わからない」と回答する生徒が多いと思われます。
- ・なぜかというところ、両問とも現実社会での対応を問うもので、高校生が「金利」や「資金の運用」、「借入れ」といった単語は知っていたとしても、実体験がないので、どう対応するべきかが思い浮かばないと思うからです。
- ・このように、金融経済教育は現実社会を経験していない生徒に、その概念を教えることになるので、かなりチャレンジングな授業内容だと思います。
- ・しかし、金融経済教育は、現実社会を知るための授業で、社会生活していく上で欠かせない知識であり、知識を意思決定に活かす知恵を身に付けることが重要です。



問1：金利の変化と資金の運用、借入れに関する解説

- 運用（預金等で金利に応じて支払いを受ける）：できるだけ高い金利で運用したい
金利上昇局面では変動金利
- 借入れ（住宅ローン等で金利に応じて支払う）：できるだけ低い金利で借入れたい
金利上昇局面では固定金利



問2：複利の計算に関する解説

10万円を年利20%で借入れると・・・

0年目：100,000円

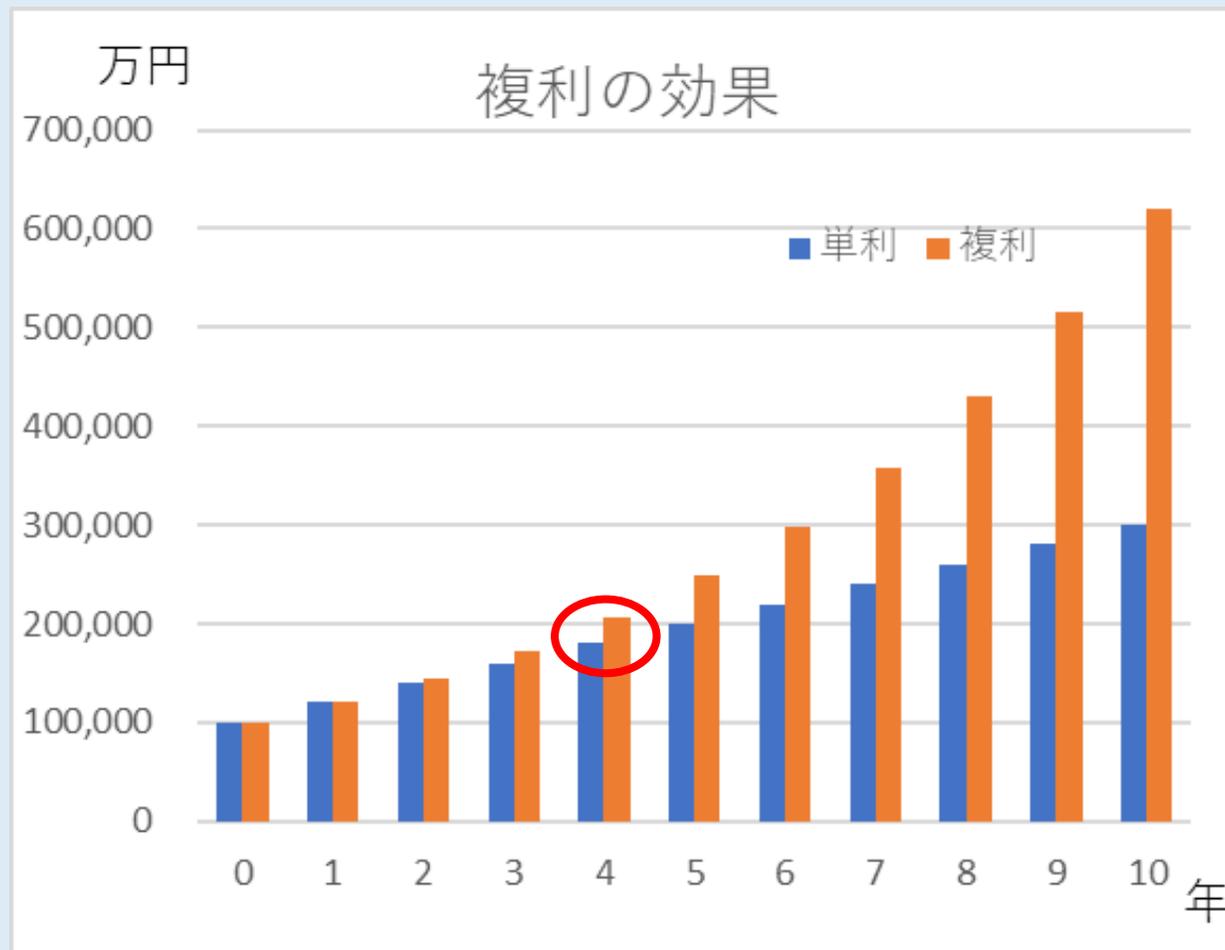
1年目：100,000円×(1 + 20/100)

2年目：100,000円×(1 + 20/100)²

⋮

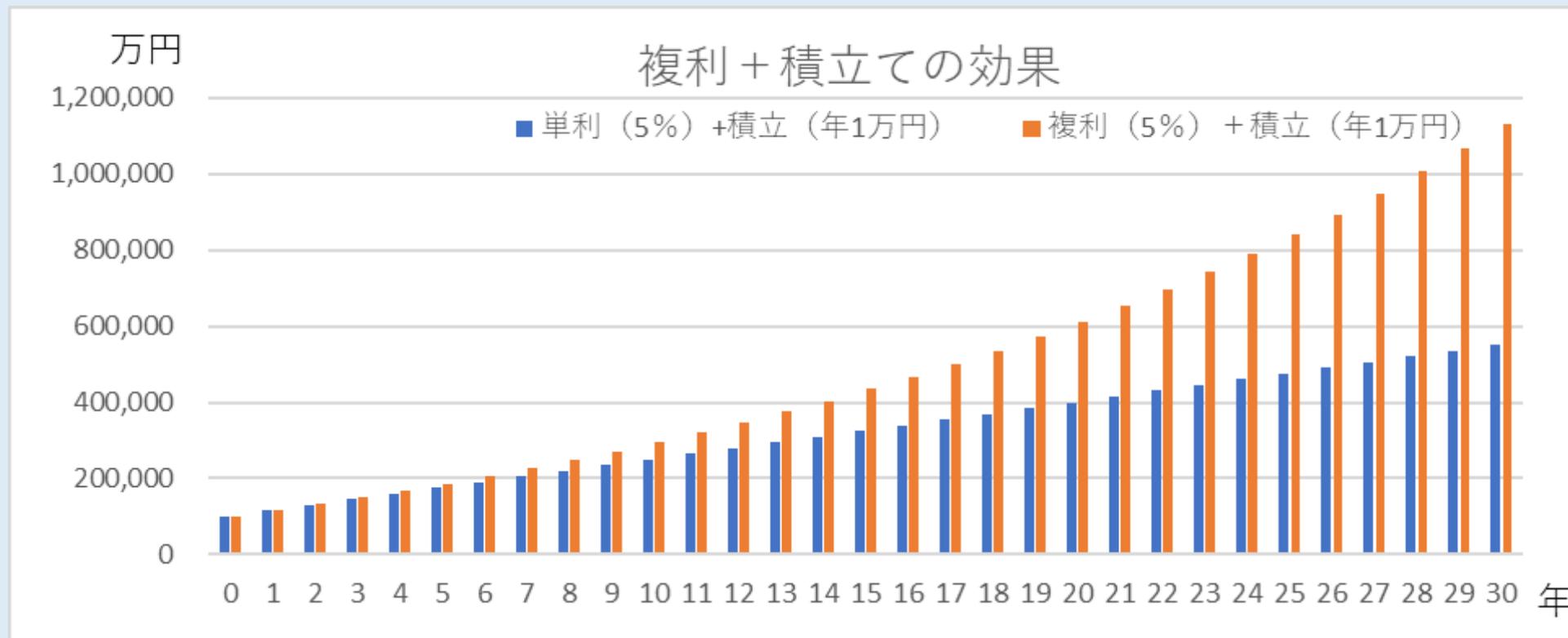
⋮

n年目：100,000円×(1 + 20/100)ⁿ



問2：複利＋積立ての効果に関する解説

- 当初の10万円に毎年1万円を追加（30年で30万円）して、運用利回り5%で複利運用する場合
- 複利の効果は、5%の利回りでも時間が長いほど効果大きい
- 複利に積立ての効果を加える（つみたてNISA）



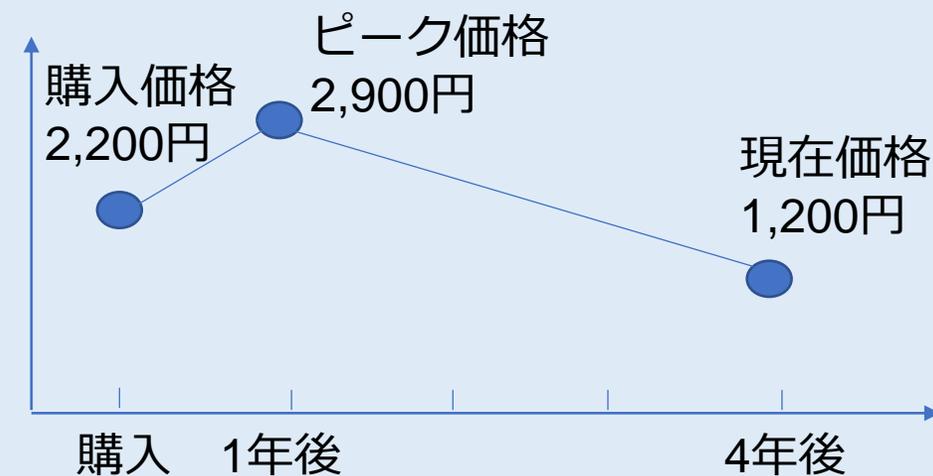
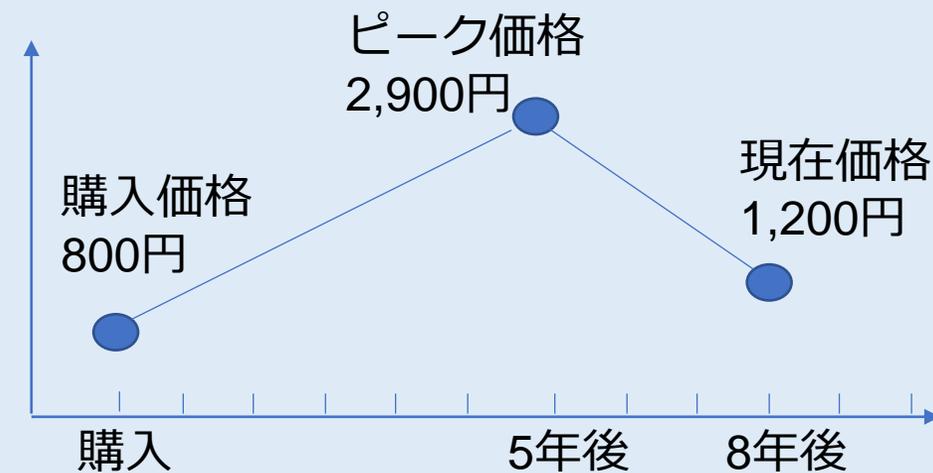
問3：株式の売買に関する問題

問3-a：あなたが800円の時買った株式は、5年後に2,900円の高値をつけた後、ジリジリと値を下げ、8年後の今は1,200円の値を付けています。さて、あなたならどうしますか？

- ① さらに買い足す
- ② 何もしない
- ③ 売ってしまう

問3-b：あなたが2,200円の時買った株式は、1年後に2,900円の高値をつけた後、ジリジリと値を下げ、4年後の今は1,200円の値を付けています。さて、あなたならどうしますか？

- ① さらに買い足す
- ② 何もしない
- ③ 売ってしまう



問3：株式の売買に関する問題の解説

問aでは「売ってしまう」を選択する人が大多数
問bでは「何もしない」あるいは「さらに買い足す」を選択する人が大多数

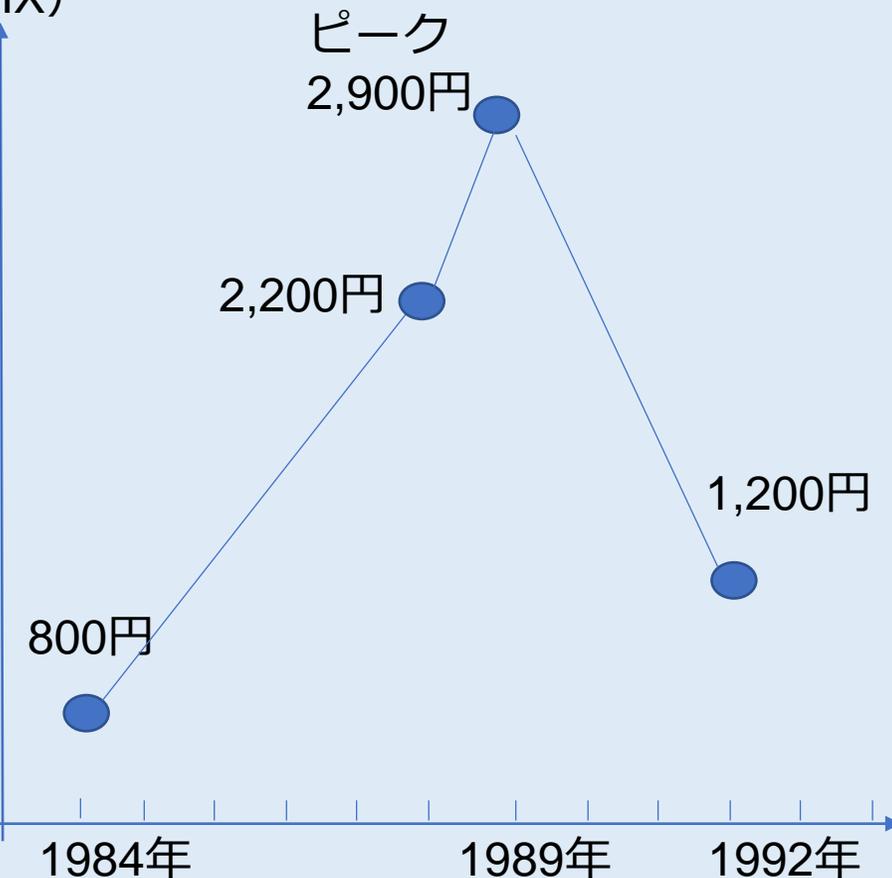
実は、バブル期（1984年～1992年）の東証株価指数の推移に基づくもので、

(a)の投資家はバブルが弾ける5年前に買った人達

(b)の投資家はバブルが弾ける1年前に買った人達

損失を確定したくないという心理が、正しい投資行動を歪める可能性があります

東証株価指数
(TOPIX)



2. 金融経済教育は、なぜ必要なのか？

■ 視野が広がり豊かな人生への道が開ける

- 世の中の仕組みがわかり、視野が広がる
- 金融経済は世界とつながっているので、グローバルな視点で考えるようになる
- 生活力が高まる

■ 個人の資産形成に活かせる

- 長期投資による資産形成で豊かで安定した生活を送れる可能性が高まる
- 若い時から資産運用の重要性に気が付く（複利の効果を活かせる）
- 経済的な自立の可能性が高くなり、自由な意思決定ができる

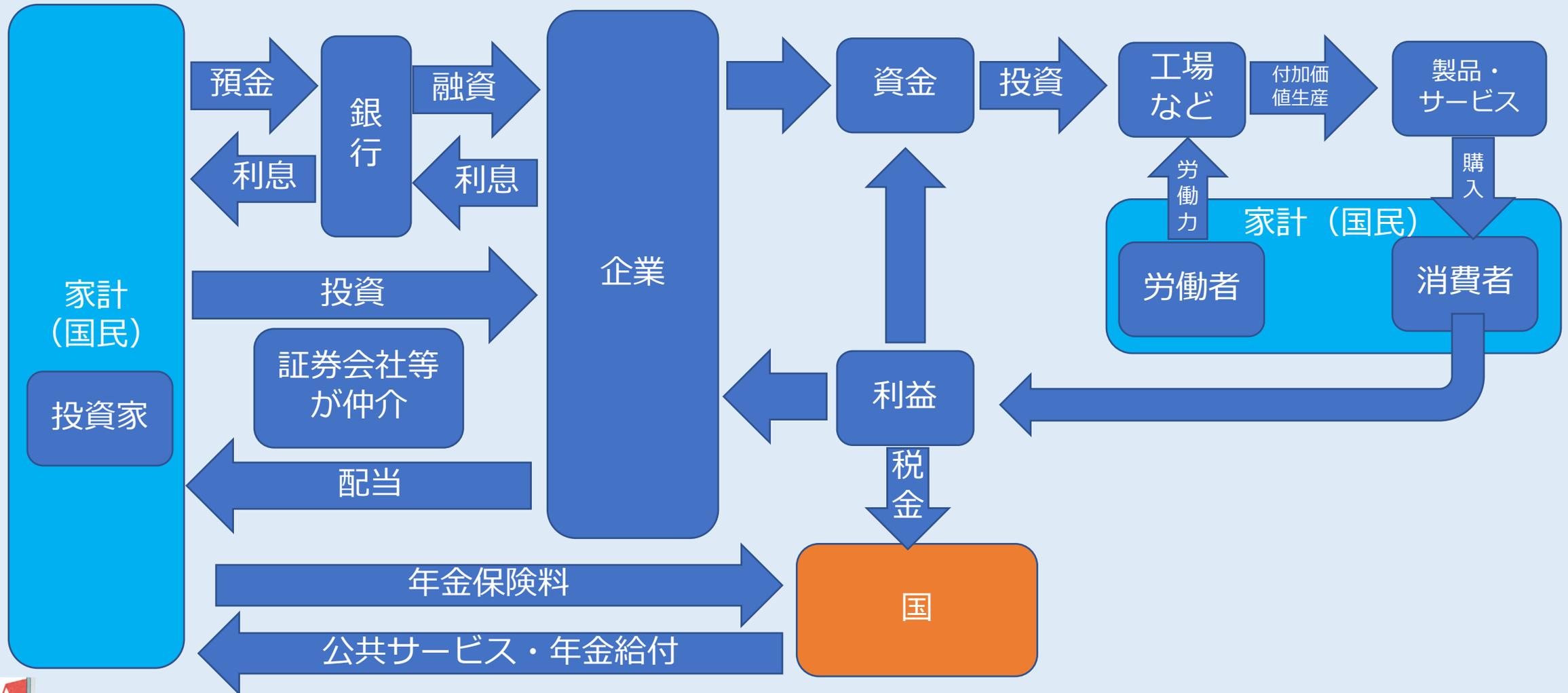
■ 資金供給で日本経済の活性化に繋がる

- 投資を通じて成長企業に資金を供給
- 投資を通じて社会を変える（ESG投資）
- 公的年金の委託者としての自覚が問われる時代

- ・ 左に挙げた3つについて、解説します。
- ・ 金融経済教育は、世の中の仕組みや世界経済とのつながりを学ぶもので、これからの生活に欠かせない知識であるばかりか、視野が広がるので、高校生にとっては人生の様々な可能性を考える機会になると思います。
- ・ 将来、豊かで安定した生活を送るには資産形成が欠かせません。長期の投資で複利効果を活かすには、できるだけ早く資産形成の重要性に気付くことです。高校生には、金融経済教育でお金の使い方、使われ方、増やし方を学んで欲しいと思います。資産形成では、複利の効果や投資家行動に関する投資教育が重要な要素になります。
- ・ 投資は企業への資金提供になり、設備投資や人材育成に繋がれば日本経済の発展に寄与することになります。一方、お金の出し手として、そのお金がどのように使われるのかも自覚して、例えばESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮した金融商品に投資することもあることを解説します。公的年金の資産運用についても触れます。



資金供給と企業の経済活動



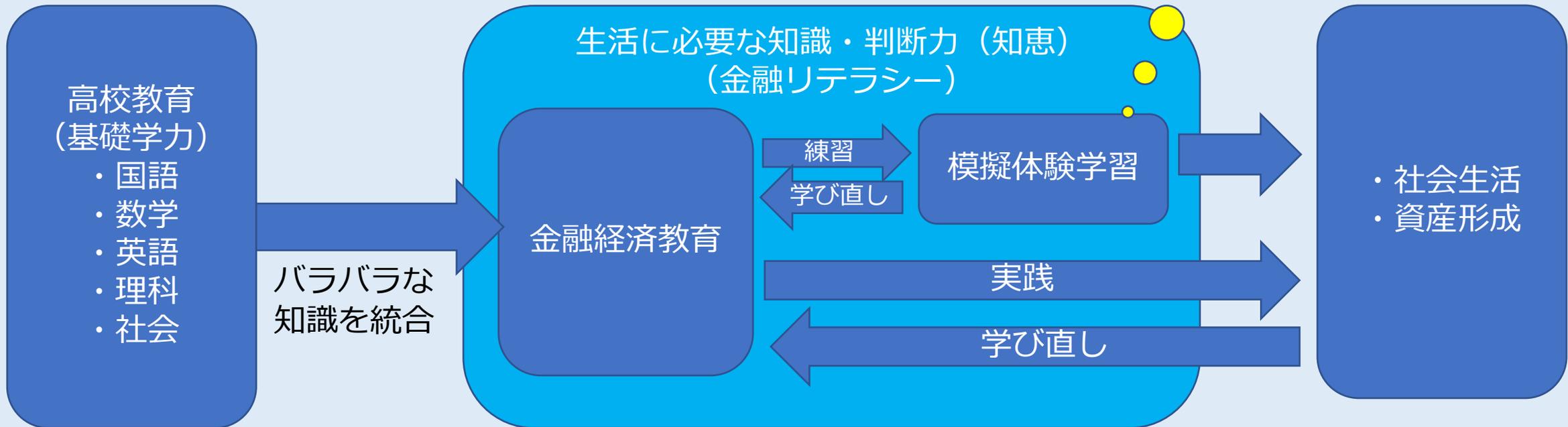
3. 社会を生き抜くための知識と知恵

- 高校教育で社会経済を理解する基礎学力を修得
- 金融経済は基礎学力を実践に移す場
- 知識を獲得し知恵を発揮しよう
 - 金融経済教育を資産形成に活かす

- ・ 高校生は高校教育で個別に教科を学び、基礎的な学力を身に付けますが、それを統合して何に使うかという意識がありません。実は金融経済教育の実践において必要な学力であることを解説します。
- ・ ある程度学力が身に付くと、自分で知識を修得することが可能になります。大学で専門的な知識を学ぶもよし、独学で幅広い知識を身に付けることも可能です。
- ・ 社会を生き抜くには、それまでに蓄積した知識の引き出しをフルに活用し、足らなければ知識を追加し、組み合わせて最適な結論を導き出す知恵の発揮に繋げる訓練が必要です。
- ・ 金融経済を学び、資産形成に踏み出すことは、現実社会において今まで蓄積した知識を活かし、投資の意思決定を行う能力、つまり知恵発揮の訓練になるのです。

知識獲得と知恵発揮

これを実現するために開発したのが、株式模擬投資アプリの「賢者のポートフォリオ」



II. 職業を知る（生徒の職業理解など）



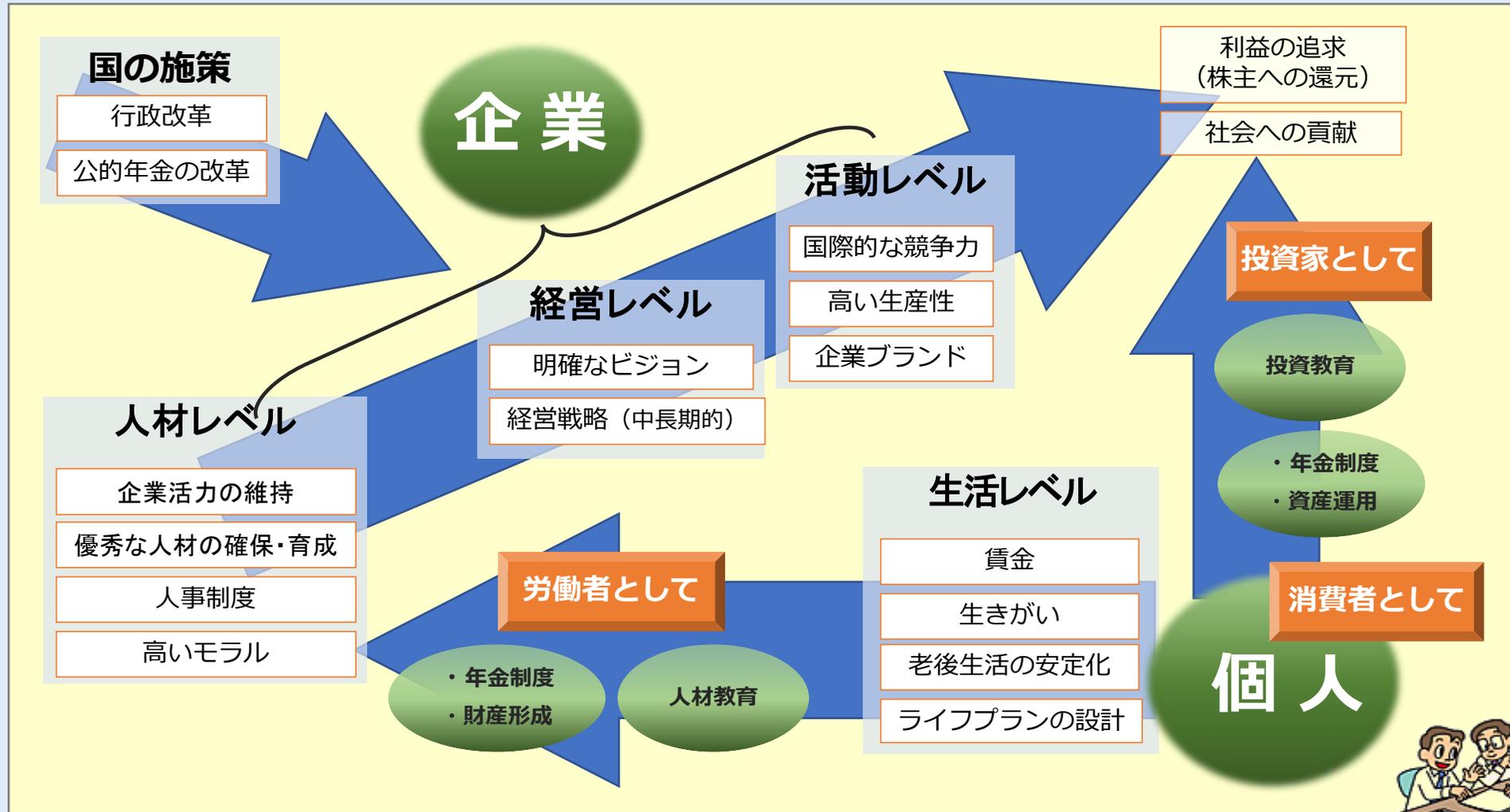
目次

1. 個人の生活と企業、社会の関係
2. 私の経歴
3. 職業選択で重要なこと

- ・ 人間は世の中の役に立つことで、喜びを感じ、励みにする生き物です。その中で自分の興味のあることを通じて社会に貢献し、お金がある程度稼げて資産形成ができれば理想的です。
- ・ 企業に就職するということは、個人は労働力を提供して賃金を得る形です。一方、企業は資金を提供している株主に配当金等で報いるため、労働者のモチベーションを高めて生産性を向上させ、組織的に企業価値を高めることが求められています。そのため、労働者としての個々人は、常に実践的な知識獲得と問題解決の知恵を磨くことが必要です。
- ・ また、企業ではチームワークが重要になり、個人ではなし得ない大きな事業をチームで達成する喜びを感じることもできます。
- ・ 一方、個人には蓄積した資金を投資に回して、投資家として企業に資金を提供するとともに、自身の資産形成に役立てるといった側面もあります。
- ・ これらの関係を私の経験からお話しさせていただきます。

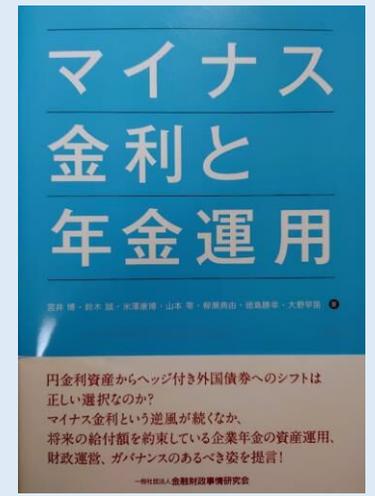


1. 個人の生活と企業、社会の関係



2. 私の経歴

- 教育学部理学科（生物学専修）卒
大学院環境科学研究科終了（MA）
高校2年生の時に「公害問題」に関心を持ったものの、どのような進路があるのかわからず、とりあえず教育学部で教員免許を取得
- 高校教師の道を断念
大学卒業後に母校で教育実習するも教師への情熱が湧かず、高校の教師を諦め、大学院で環境問題を生態学の立場で研究することに
- 環境関連の調査コンサルティング会社に就職
東京湾のヘドロ調査（環境庁からの委託調査）などに従事
- 証券会社のリサーチ部門に転職（33歳）
環境問題を解決するには経済の仕組みを知る必要があると考え転職を決断
証券会社のリサーチ部門で株式投資のリスク管理モデル等の研究開発、年金基金向けコンサルティング、ESG投資などに従事
- 定年退職後に、インターネットを使った投資教育関連の会社「あせまねライフ株式会社」を起業し、「草の根の金融リテラシーの向上」を目指している
- 著書：「ポートフォリオ・マネジメントの実践」、「マイナス金利と年金運用」（共著）
- その他：明治大学非常勤講師、中央大学大学院国際会計研究科客員教授、全国市町村職員共済組合連合会資産運用委員会会長など歴任



環境問題への取り組み

■ 自然科学だけでは環境問題は解決しない

- 自然科学的な分析によるファクトの収集は重要
 - 地球温暖化のメカニズムの解明
 - 生態学的な汚染物質の蓄積経路の解明
- 経済と環境の両立させる仕組み
 - 東京湾に蓄積したヘドロの調査で感じたこと
 - 環境問題の解決に経済活動を利用することが重要
- グローバルな金融による資金の流れを利用した環境問題の解決
 - UNEP-PRI（国連環境計画の責任投資原則）
 - ⇒ ESG投資

- ・ 環境問題に関心を持った私は、環境科学研究科で生態学を学び自然科学のアプローチで環境問題の解決のための野外調査や実験方法を学びました。
- ・ 環境問題の現状を自然科学の観点で把握することは、解決策を策定する上で必要なプロセスです。
- ・ 例えば、東京湾をきれいな海に戻すためには、海底からの栄養分の流入を抑えることが必要です。環境庁からの委託調査で、海底に蓄積したヘドロの除去について調査分析しました。
- ・ 調査分析の結果は行政に報告書として提供しましたが、実行するには予算措置が必要となり、当時の経済状況との兼ね合いで実現しませんでした。
- ・ 現在、地球温暖化ガスの排出量を抑えるための国際的な協議が開催されていますが、温暖化の影響を科学的に予測するシミュレーションとともに、解決のための経済的な支援の枠組みが課題になっています。
- ・ そんな中、各国間の条約締結の必要のない金融機関の間の取り組み（UNEP-PRI）が注目されています。



責任投資原則 (PRI)

責任投資原則の導入

PRIと6つの原則について

PRIは、署名機関による国際的ネットワークと協力し、責任投資原則の6つの原則を実践に移すこと目的としています。PRIは、環境、社会、ガバナンス (ESG) 課題の投資への影響を理解し、署名機関がESG要因を投資及び所有者の意思決定に組み込むための支援を提供しています。

6つの原則は投資家によって策定され、国連から支持を受けています。署名機関は、50ヶ国超から1,400機関以上が集まり、その合計資産は59兆米ドルに相当します。

PRIのミッション

私たちの信念と熱意

経済効率性が高く、持続可能なグローバル金融システムは、長期的な価値を創出する上で不可欠です。このようなシステムは、長期にわたる責任ある投資に頼り、環境と社会全体に利益をもたらします。

PRIは、次の方法で、持続可能なグローバル金融システムの達成を目指しています。1) 6つの原則の採択と実施のための協力促進、2) 優れたガバナンス、論理観、説明責任の強化、並びに、3) 市場買値や市場構造、規制内における持続可能な金融システムに対する障害の除去。

6つの原則

署名機関のコミットメント

私たち機関投資家には、受益者のために長期的視点に立ち最大限の利益を最大限追求する義務があります。この受託者の役割において、(ある程度の会社間、業種間、地域間、資産クラス間、そして時代毎の違いはあるものの) 環境、社会、企業ガバナンス (ESG) 課題が投資ポートフォリオのパフォーマンスに影響する可能性があると考えます。また、これら6つの原則を適用することにより、投資家がより広範な社会の目的を達成できるであろうことも認識しています。

したがって、受託者責任と一致することを条件に、私たちは以下にコミットします。

- 1 私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込みます。
- 2 私たちは活動的な所有者となり、所有方針と所有価値にESG問題を組み入れます。
- 3 私たちは、投資対象の企業に対してESG課題についての適切な開示を求めます。
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

責任投資原則は、環境、社会、コーポレートガバナンスの課題が投資実務に及びず影響の拡大を受けて、国際的な機関投資家の集まりによって策定されました。本プロセスは、国連事務総長が機関投資家を招聘したことから始まりました。

本原則に署名するにあたり、受託者責任に反しない範囲で、私たちは投資家として本原則を採用し実行することを正式に約束します。また、その効果を評価し、将来的に本原則の内容を改善していきます。私たちは、本原則が、受益者へのコミットメントを果たす能力を向上させるとともに、運用活動と広範な社会的利益とがより整合性のとれたものとなることを確信しています。

- PRI (責任投資原則) は、この原則に賛同する金融機関の投資行動を通じて、ESG (環境・社会・ガバナンス) の課題を解決しようとするものです。
- 国連加盟国の分断が顕在化して、各国間の条約締結が困難になる中、民間ベースでできるところから問題解決を図ろうとする取り組みです。
- 日本の公的年金の資金を運用するGPIFもPRIに署名しており、長期投資で安定的なリターンを確保するため、ESG投資を推進しています。
- GPIFは資金規模が192兆円 (2022年9月末) に達する世界最大の機関投資家 (資産保有者) で、国内外の株式に資産の50%を投資しています。
- 私たち国民の将来の年金財源の一部になる資金を運用しており、受託者責任が発生するので、最近では国民向けにYouTubeなどで情報開示に努めています。国民はGPIFの年金資金の運用状況が理解できるレベルの金融リテラシーの向上が必要になっています。



3. 職業選択で重要なこと

- 好きなこと（興味があること）をやって、社会に役立ち、お金が稼げる
- 問題は好きなこと（興味があること）をどのように見つけるか？
 - 高校の先生の影響
 - 身近な人の影響
 - 感じたことをメモ書き、インターネットで調べる
- 問題は好きなこと（興味があること）でどのようにお金を稼ぐか？

⇒資産形成の準備はできるだけ早く始めることが重要で、金融経済教育はその第一歩

楽しく金融経済を学ぶために開発したものが株式模擬投資アプリ「賢者のポートフォリオ」

- ・人生において、好きなこと（興味があること）をやって、社会に役立ち、お金が稼げるのが理想です。
- ・世の中には色々な職業、仕事がありますが、どのようなものでもなんらかの形で社会に役立っています。
- ・問題は好きなこと（興味があること）をどのように見つけるかです。多いのは学校の先生方から影響を受けるパターンです。私の場合は、高校の生物学の先生からの影響が大きかったのですが、高校2年の当時「水俣病」や「河川汚染」が社会問題になっており、書店で専門書を見て関心を持っていました。高校生の頃は感受性が高く、可能性に満ち溢れているので、感じたことを大切にすることが良いと思います。
- ・次に好きなこと（興味があること）でどのようにお金を稼ぐかですが、両者は無理に繋げる必要はありません。そして、仕事で得た金額の20%は、ないものと思って貯蓄（投資）に回すことです。これは、33歳で証券会社に転職した際に、人事部長から言われた言葉ですが、これがきっかけで長期分散の積立投資を開始し、現在の資産形成に役立っています。

Ⅲ. 起業について（理由や経緯など）



目次

1. 資産運用業界での経験の社会還元

- 資産運用業界で30年超の経験
- 大学での非常勤講師としての教育実績

2. 金融リテラシー向上への貢献

- 「貯蓄から資産形成へ」の流れによって個人の資産形成を後押し
- 日本の金融システムの健全な発展を後押し

3. 株式の模擬投資アプリで社会貢献

- 資産形成に踏み切れない理由
- 「賢者のポートフォリオ」の特徴

- ・証券会社の調査部門に30年超勤務し、資産運用のリスク管理や、年金基金向けに資産運用管理についてアドバイスなどを手掛けました。
- ・この間、様々な経験を経ながら、日本の金融業界の発展とともに充実した生活を送ることができました。
- ・実務での調査研究の成果を学会で報告を行ったところ、大学から授業依頼があり、非常勤講師として知見やノウハウの社会還元を行ってきました。
- ・一方、日本では個人の資産は預貯金に偏っており、株式など経済成長に伴う価値増加を享受できず、「貯蓄から資産形成へ」による資産形成が進んでいません。
- ・そこで、個人の金融リテラシーを向上させて、資金を企業に供給して経済成長に繋げるとともに、日本の金融システムの発展にさらに寄与したいと考え、「賢者のポートフォリオ」と名付けた株式の模擬投資アプリで投資教育を提供する会社（あせまねライフ株式会社）を起業しました。

講師のご紹介



宮井 博

あせまねライフ株式会社
代表取締役社長

(公益財団法人) 年金シニアプラン総合研究機構理事

(公益財団法人) 東京財団政策研究所 資産運用アドバイザー

【経歴】

- 環境アセスメント関連の会社を経て、1987年に旧日興証券株式会社に転職
- 日興リサーチセンターで資産運用のモデル開発や年金基金へのコンサルティング業務に携わる
- 年金資金の資産運用関連のビジネスの他、ESG投資の調査研究も推進
- 明治大学や中央大学大学院で非常勤講師など歴任
- 2018年3月あせまねライフ株式会社設立

1. 資産運用業界での経験の社会還元

■ 資産運用業界で30年超の経験

■ 資産運用におけるリスク管理手法の調査研究

- 流動性の高い金融商品に投資することが一般的
- 金融商品は資産価値が上昇または下落（リターン）
- リターンの変動をできるだけ小さくして安定的に増やす方法がリスク管理

■ 年金基金向けに資産運用のコンサルティング

- 受託者責任の下、効率的に運用
- 公的年金も国内外の株式に投資を行っている
- 委託者の理解向上が課題

■ 大学での非常勤講師としての教育実績

- ポートフォリオマネジメント
- 年金基金の資産運用

- ・ 資産運用業界で30年超の経験があります。その間、株式や債券等のリスク資産に投資する際の、リスクの把握や分散効果の調査研究を行いました。
- ・ 調査研究の過程で構築したリスク管理モデルを年金基金等の資産運用のコンサルティングに利用しました。
- ・ 金融商品のリスクの把握や分散投資に関する知識やノウハウは、個人投資家が長期に資産形成を行う上でも利用できる方法なので、社会に還元したいと考えました。
- ・ 年金基金には加入員から拠出された資金を安全効率的に運用管理する受託者責任があります。その際、運用状況を加入員に適切に開示し、加入員の理解の下で情報共有することが資産運用業界を発展させる上で必要になっています。
- ・ 今までの経験で学んだ、資産運用におけるリスク管理や運用管理の考え方は、大学での非常勤講師として社会還元してきましたが、これをさらに一般の個人投資家に広げたいと考えています。



金融リテラシーの重要性

■ 金融商品の理解

- 投資内容の把握、経済環境から受ける影響、リスクとリターンなど

■ 金融商品への投資を通じた社会貢献

- 株式や投資信託を通じて企業へ資金供給
- ESG投資商品に投資して環境問題などに貢献
- 最終受益者、委託者の金融リテラシーが今後の金融発展に欠かせない

- ・ 個人の資産形成は、金融商品を通じて実行するので、金融商品の理解が欠かせません。
- ・ 資産形成のための有力な候補は投資信託です。日本には約6,000本の投資信託があり、どのように選ぶかが課題になっています。
- ・ 投資信託は、郵便局を始め、信用金庫や地方銀行、メガバンク、証券会社などで販売されています。投資信託を販売しようとする金融機関は、投資家保護の観点から顧客に投資のリスクを説明し、その知識レベル等に応じて不適切な販売を行ってはならないとされています。
- ・ 個人は資産形成の手段の一つとして、株式や投資信託などの金融商品を選択しますが、投資された資金は企業への資金供給となり、新技術開発などの投資に回され日本経済の活性化に寄与しています。
- ・ 一方、投資信託や年金基金には資金を提供する形になるので、最終受益者や委託者と位置づけられます。運用委託先の運用手法や状況に関心を持つことが重要です。



2. 金融リテラシー向上への貢献

■ 「貯蓄から資産形成へ」の流れを支援

- 日本の家計は保有資産の多くを預貯金で保有しており、海外に比べて資産効果を享受できていない
- NISA口座の開設が若い世代を中心に増加しているが、投資未経験者が5割近くある
- 金融や投資に関する知識や経験不足によって、行動に移せない人がいるのではないかな？

■ 年金基金等の受託者責任に対する意識を変える（金融の中心に個人を）

- 金融商品や年金基金の資産運用の主役はお金を拠出している個人や国民

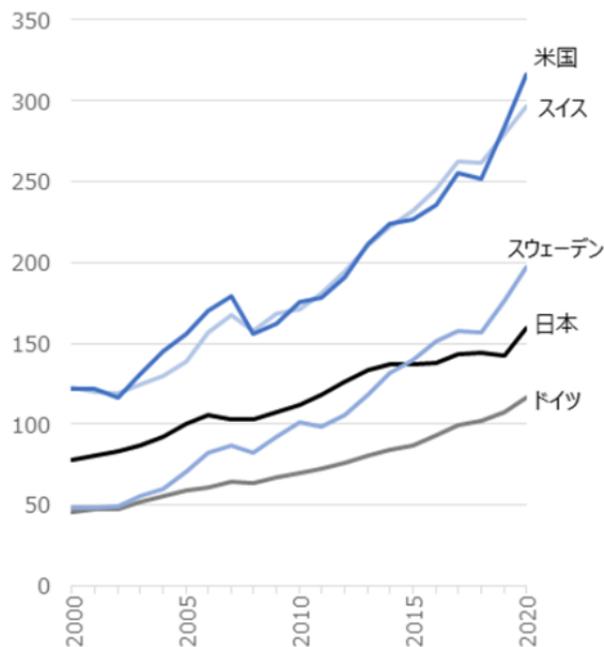
- ・ 資産運用業界での30年超の経験やノウハウを社会還元するのに最も適した分野は、個人の金融リテラシーの向上に資する活動だと考えました。
- ・ 日本では老後資金の2000万円問題などをきっかけに、資産形成の重要性が意識され始めています。
- ・ また、NISA口座の開設が若い世代で増加している一方で、投資未経験者が5割近くに達し、これに呼応するかのようには、未稼働口座も5割に達します。
- ・ これらの原因は、金融や投資に関する知識や経験不足によって、行動に移せない人が大勢いると考えられます。そして、金融リテラシーが諸外国に比べて低いことが指摘され、「貯蓄から資産形成へ」の流れが進んでいません。
- ・ 金融リテラシーの向上は、個人の資産形成に役立つばかりでなく、年金基金等の受託者責任に対する意識を変え、日本の金融システムの適切な発展にもつながると考えています。
- ・ そこで、ゲーム感覚で株式投資を楽しく学べるアプリを開発して、投資に踏み切れない人達を応援したいと考えました。



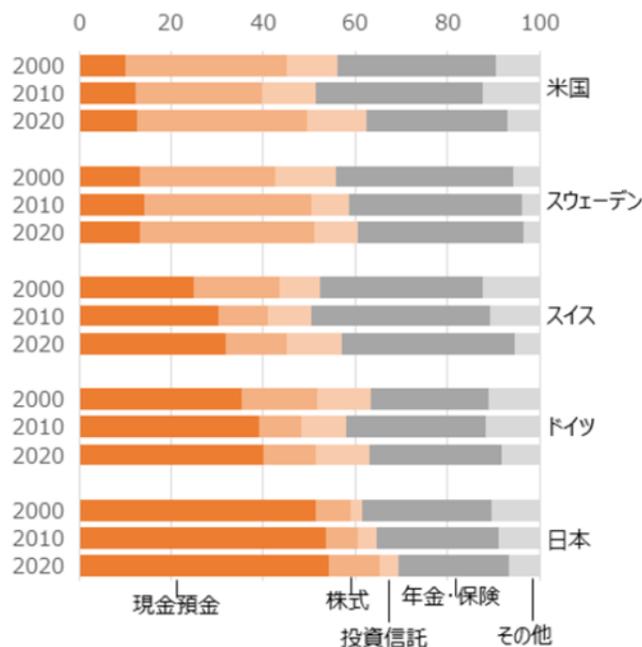
家計の金融資産と資産効果

主要国の家計金融資産

主要国の家計金融資産の推移
(1000ドル/一人当たり)



主要国の家計金融資産構成比 (%)

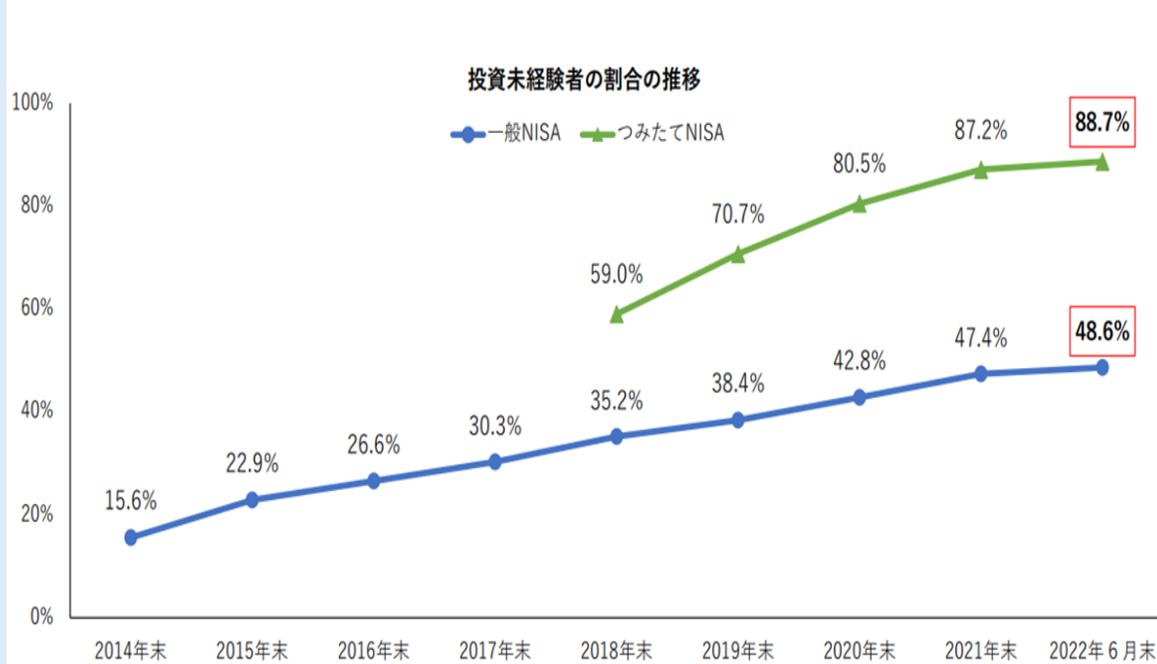


資料 : OECD "Household financial assets" より作成

- 主要国の家計金融資産の推移をみると、国によって伸び率に大きな差が生じています。
- 米国とスイス、スウェーデンは金融資産の増加率が高いのに比べて、日本やドイツは低いことがわかります。
- その違いは、家計金融資産の構成比率の違いにあります。米国やスウェーデンでは、株式や投資信託の比率が50%程度あるのに対して、日本では20%未満で、代わりに現金預金が50%近くあります。
- 日本でもこの株式比率が増加しているので、わずかですが資産増に現れています。
- 日本の現金預金の比率を20%株式投資に振り向けるだけで家計金融資産は大きく増加することが期待されます。

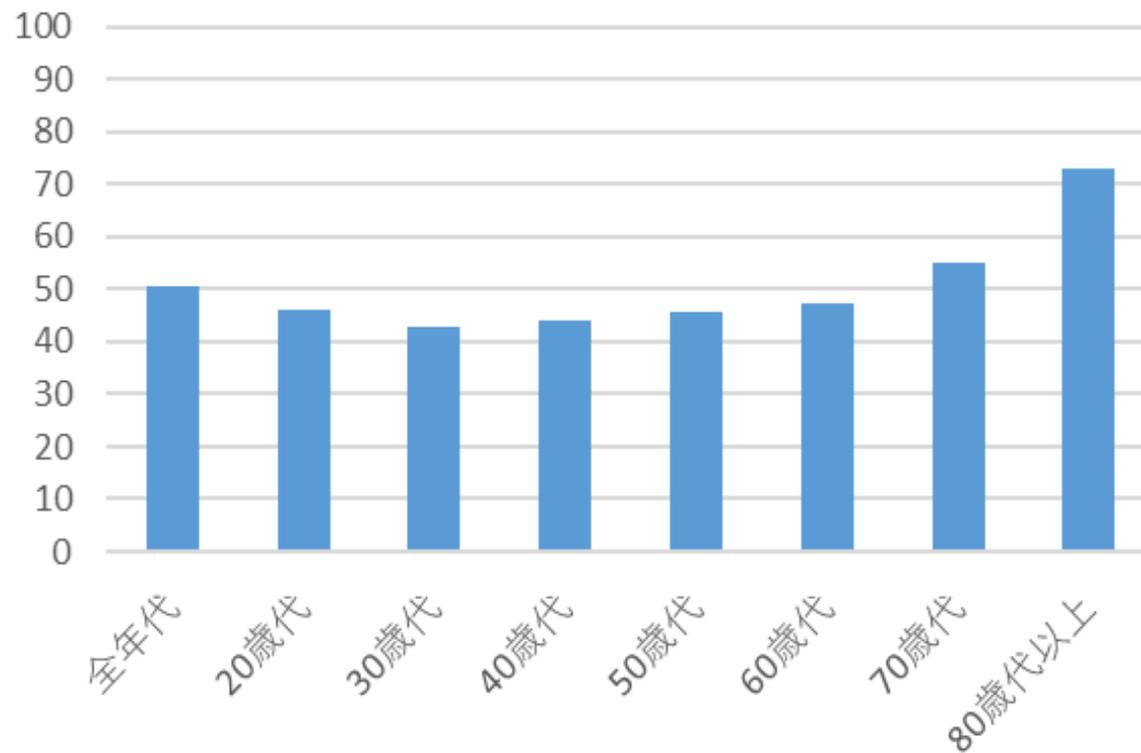
NISA口座開設者の状況

- 2022年6月末のつみたてNISA口座開設者における投資未経験者の割合は88.7%であり、2021年末の87.2%と比較して、1.5ポイント増加した。
- 2022年6月末の一般NISA口座開設者における投資未経験者の割合は48.6%であり、2021年末の47.4%と比較して、1.2ポイント増加した。



※ つみたてNISAの「投資未経験者」は、報告のあった証券会社において2017年10月1日以降に証券総合口座を開設した者と、一般NISAの「投資未経験者」は、報告のあった証券会社において2013年4月1日以降に証券総合口座を開設した者としている。また、それぞれの割合は勘定設定口座数をベースに計算している。

一般NISA未稼働口座



(出所) 金融庁のNISA利用状況データより筆者作成

(出所) 日本証券業協会

3. 株式の模擬投資アプリで社会貢献

■ 資産形成に踏み切れない理由

- 一歩踏み出せるようにサポート
- 初心者から上級者まで様々なレベルに対応

■ 「賢者のポートフォリオ」の特徴

- 資産運用業界での経験を凝縮
- リアルな株式投資を実現
- ゲーム形式で楽しく学ぶ

- ・長年に渡る資産運用業界で培った経験を社会に還元したいと考えた時、社会の金融リテラシーを向上させ、わが国社会の課題である「貯蓄から資産形成へ」を後押ししたいと考えました。
- ・そこで、「貯蓄から資産形成へ」に踏み切れない理由を具体的に示し、それを解決するツールを開発することにしました。
- ・「賢者のポートフォリオ」と名付けた株式の模擬投資アプリは、資産運用業界で培った経験が凝縮されています。
- ・そして、このアプリを核として投資教育を提供する会社（あせまねライフ株式会社）を起業しました。

資産形成に踏み切れない理由



人生100年時代、
資産形成が必要だとは
分かってはいるけど・・・

こちらをご覧ください



投資を学びたいけど、
忙しくて時間がない！

こちらをご覧ください



投資って、専門用語が多くて
難しいんだよね…

こちらをご覧ください



金融機関にNISA口座を作ったけど..
何から始めたらいいの

こちらをご覧ください



初心者だけど、
いきなり株式投資を始めても
大丈夫かな？

こちらをご覧ください



自分できちっと考えて
銘柄選びをしたいけれど…

こちらをご覧ください



経済や投資の理論も踏まえた
正統な株式投資を学びたい

こちらをご覧ください



専門家が実践しているような
上級の投資スキルを身に付けたい

こちらをご覧ください



賢者のポートフォリオがお助けします。

「賢者のポートフォリオ」は株式投資を気軽に学べる投資教育アプリです。
ゲームを楽しみながら、投資を学んでみませんか？



「賢者のポートフォリオ」の特徴

- 過去に起きた実際のデータを使ってリアルな体験
- 株価に影響する代表的な局面（円高／円安、原油高／原油安、株高／株安）で学ぶ
- 銘柄選定の方法
 - 800銘柄強の中からランダムに提示される12銘柄から5銘柄選定
 - 様々な情報（経済環境、銘柄情報）を使って多面的視点から
 - 投資期間を1年～5年として銘柄選定
 - 選んだ銘柄のリターンを集めて順位付けして点数化（高順位～低順位で4点～1点を配点）
 - 5つの異なるテーマ（5つの館）で銘柄選定
 - メンターが銘柄選定の方法を指南（「攻略のヒント」など）
 - シングルプレイ（自分だけ）とギャザリングコンペ（他人との対戦やチーム対抗戦）
- すごろく風のゲーム仕立てで楽しく学ぶ
 - 累積点数が低いとやり直し、クリアするとメダル獲得、たくさんメダルを集めて賢者等級（「見習い賢者」～「上級賢者へ」）
 - 高得点で花火や紙吹雪などの演出

